

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【特別活動】

1. 対象 知的障害 中学部 2年生 24人

簡単なテーマでの話し合い活動ができる生徒、教師と一緒に活動する生徒が在籍している。

やるのが分かると、自分から活動に参加することができる生徒、教師と一緒に選択肢の中から選択、決定することができる生徒と幅広い。

2. 単元名「みんなで楽しく過ごすために」（学年活動 全5時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やルールを守って活動することができる。 ・友達や教師と適切な距離で関わることができる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友達や教師に自分の考えを伝えたり、教師と一緒に気持ちを選択したりすることができる。 ・クラスの友達と決めたルールや約束を、他クラスの友達に伝えることができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と、楽しく過ごすためのポイントを相談することができる。 ・友達の考えを受容することができる。

4. 本時の目標

※「5」を単元で作成する場合は省略可能です。

5. 授業展開【 本時 **単元** 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い
「24人の仲間が、楽しく過ごすためには、どうしたらよいか考えよう。」

考えるための材料		
本単元の活動の流れが分かるスケジュールボード ①「楽しく」って何？ ②普段の生活を楽しく過ごせているか考えてよう ③クラスで考えたことをまとめて提案する。	クラスの話し合いで出た言葉を記録する画用紙片	
想定される活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・何について考えればよいか分かる。 ・まずは「楽しく」について考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで話し合っ出て意見が視覚的に分かる。 ・自分と同じ考え、違う考えがあることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い行動、そうをない行動を自分の生活と重ね合わせることで、今後の生活に活かそうとする。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）
対話の方法 20分間。全体で話を聞いたあと3クラスに分かれて行う。各クラス生徒8人、教員2人が支援する。
対話や思考のプロセス ①「楽しく」とはどのようなことかをクラスで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが仲良くすればいいね。あいさつをしよう。○○さんはどう思う？ ・やるべきことをきちんとやればいいね。

- ・みんなで時間を守れるようにしよう。
- ・「人との距離は腕一本。」を守ろう。
- ②クラスで考えたことを発表し、出てきた意見から、2年生の「楽しく」とは何かを押さえる。
- ②どうすれば楽しく過ごせる？
- ・自分がルールを守ってないときがあることは分かっている。
- ・みんなで声を掛け合えばいいのかな。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・楽しく過ごすために、〇〇をする。
- ・友達がどのように考えているか分かった。
- ・自分とは違う考え違う考えがあることが分かった。
- ・みんなで決められてよかった。クラスの友達になら、自分のことが言える。
- ・他のこともクラスで話し合っ、2年生みんなで決めたい。